

3 ささえあう上市

守るべきものを守り、みんなで“ささえあう”安全・安心な暮らし

ささえあう 1 福祉・健康

1-1 地域福祉の推進



現状と課題

- 少子高齢化やライフスタイルの変化等により、地域のつながりが希薄化する中、生活の中で助けを必要とする高齢者やひきこもり等、社会的孤立にある人が増加しています。本町では各地域の集いの場で町民同士の交流を図るなどつながりを深めています。これからも、だれもが住み慣れた地域でいきいきとした生活をおくることができるよう、**子育て・教育・医療の各分野を横断する統合的な支援策の設計と連携体制の構築**や町民一人ひとりの努力（自助）、町民同士の相互扶助（共助）、公的な制度（公助）の連携により、ささえあう仕組みづくりが求められます。
- 本町は全国と同様、年々高齢化が進行し、要支援・要介護認定者や一人暮らし高齢者、高齢者のみの世帯が増加傾向にあることから、日常生活や介護に不安を抱えて生活する高齢者が今後、更に増加していくことが懸念されています。介護保険制度に基づくサービスの提供体制を整えていますが、高齢者が地域で自立し、安心して暮らしていくことができるよう、介護予防や生きがいがづくり等、いつまでも元気に暮らせる取組を進めるとともに、地域における見守り・ささえあい体制と医療・介護・福祉等、多様な職種の連携強化を軸とした「地域包括ケアシステム」の構築・充実が求められています。
- 障害者福祉では、行政や障害福祉サービス事業所による支援は各法制度等により整備されている中、自立支援協議会を開催して情報共有を行っているほか、事業者と連携しながら日中活動や相談の場を提供しています。今後は、一人ひとりの状況やニーズに応じた福祉サービスの充実に努めるとともに、障害のある人が地域生活へ移行できる環境や、文化芸術やスポーツ等を楽しめる社会をつくることが求められています。
- わが国は先進国である一方で、貧困率が高いという問題も抱えており、地域の生活課題は多様化・深刻化してきています。本町では生活困窮者対策として、個人や世帯を取り巻く状況の把握に努め、その能力と公助を活用しつつ、自立に向けて必要に応じて専門機関と連携しながら支援に取り組んでいます。今後とも「誰一人取り残すことのない」社会づくりの構築に向けて、継続的な支援が重要です。

コメントの追加 [C1]: 住民アンケート結果報告書

（P.104）から、重要度が高いが満足度が低い分野で尚且つ、課題感の強い層が重複している「子育て支援」「医療」「教育」については、単独で支援を実施するだけでなく統合型の支援が有効であると考え文言を追記しました。



©2012 W.C.F.P

ミライの 上市

地域の生活課題を「我が事」としてとらえ、町民同士が支え合いながら、住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らすことができます。

数値目標

指標	基準値	目標値
地域での集いの場の開催回数	368 回	500 回
要介護認定率	19%	21%
福祉施設等から一般就労への移行者数	3 人	4 人

施策の内容

1-1-1 地域福祉活動の促進

- ★ 人に寄り添いささえあう心の醸成と地域共生社会の実現に向けて、福祉課題を「我が事」ととらえる意識の啓発に努めるほか、ボランティア等の地域福祉人材の育成と各地域の集いの場での地域のふれあい、ささえあい活動の充実に努めます。
- 地域の困りごとに対する相談支援体制の充実を図るとともに、支援が必要な時に適切にサービスが提供できるよう、情報提供と関係者間の連携を促進します。
- 災害時の避難行動要支援者の把握や成年後見制度の利用を促進するなど、要支援者を地域全体で見守る環境づくりに努めます。

1-1-2 高齢者介護・福祉の充実



©2012 W.C.F.P

ささえあう上市 イ

- 町民主体での介護予防やささえあい、生きがいつくりの実現に向けて、仕組みづくりや人材の発掘・育成に取り組めます。
- 住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの深化・推進に努めます。
- 認知症の人の意思が尊重され、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができる環境づくりの推進、また認知症予防の啓発活動の継続に努めます。

1-1-3 障害者福祉の推進



©2012 W.C.F.P

ささえあう上市 イ

- 障害者の社会参画の機会拡充とそのための環境づくりを進めていきます。
- 一人ひとりの障害等の状況に合わせた福祉サービス等のきめ細やかな提供を行い、就労や日中生活、移動、住まい等の総合的な支援に努めます。
- 障害者団体の活動活性化と支援を拡充します。

1-1-4 生活困窮者への支援

- 生活困窮者に対し、町社会福祉協議会や東部生活自立支援センター、富山県中部厚生センターと連携した生活就労相談や自立支援を行います。

個別 施策

3

主な取組

- 地域福祉推進事業
- 高齢者福祉事業
- 介護保険事業
- 障害者地域生活支援事業

町民や地域・団体・事業者の取組の例

【町民】

- ボランティア活動に関心を持ち、できることから実践します。
- 障害者への理解を深め、社会参加しやすい環境づくりに努めます。

【地域・団体・事業者等】

- 地域で交流の場を開催するなど、ボランティアを活用しながら地域福祉活動に取り組みます。
- 地域の中での「困りごと」について関心を持ち、地域で見守ります。
- 認知症の人とその家族を地域のネットワークで見守ります。
- 事業所における障害者の雇用受け入れや職場体験などを推進します。

関連する計画・条例等

- 上市町地域福祉計画
- 上市町高齢者福祉計画
- 上市町障害者福祉計画・上市町障害福祉計画・上市町障害児福祉計画



ワークハウス剣の活動



福祉ふれあいフェスティバル



1－2 健康づくりの推進



現状と課題

- 健康づくりには町民一人ひとりの主体的な取組が大切であり、個人の健康に関する取組に対しポイントをつける事業（生き活きつるぎヘルスポイント事業）を実施しています。また、生活習慣に起因する疾病の予防と早期発見のため、健康教室、検診（健診）、保健指導を実施しています。検診（健診）予約手続きのデジタル化や、集団がん検診の実施会場では、ヘルスポランティアから協力を得て、受診率の向上に努めています。今後、未受診者への受診勧奨と重症化予防の強化を行う必要があります。
- 各種取組みを町民に発信するため、関係団体・機関の分野横断的な連携や体制の構築を行う必要があります。
- ストレス社会の中で、本町の重点課題であるこころの健康づくりとして、関係機関との連携のもと、生きることへの包括的な支援を推進することが大切です。

コメントの追加 [C2]: 「情報発信」を課題と捉え、関係団体・機関の分野横断的な連携や体制構築について追記しました。

ミライの
上市

町民一人ひとりが主体的に健康に心掛け、ライフステージに応じた取組により、健康寿命が延びています。

個別
施策

数値目標

指標	基準値	目標値
特定健診受診率【総合戦略】	35.4%	60%
大腸がん検診精密検査受診率【総合戦略】	男 78.8%	男 90%
	女 89.6%	女 90%

3






乳がん検診車

97



つるぎ健康マラソン

施策の内容

<p>1-2-1 町民の主体的な健康づくりの推進</p>  <p>ささえあう市 イ</p> <p>©2012 W.C.F.P</p>	<ul style="list-style-type: none">★ 生き活きつぎヘルスポイント事業を通して、健康診査や各種検診、健康に関するイベント、ウォーキング等の健康づくり活動を行うことができる環境づくりに努めます。○ 町内の教育やスポーツに関する事業との連携や、団体・事業者との連携による、町民の主体的な健康づくりの推進を図ります。○ フレイル予防に対する意識の醸成を図る啓発活動や医療・介護の連携体制の強化を推進し、健康で安心できる暮らしへの環境づくりにつなげます。○ 超高齢社会が進行するなか、骨折の原因となる骨粗しょう症の検診を受け、早期発見・早期治療することにより健康的に生きることができる社会を目指します。
<p>1-2-2 生活習慣病予防と感染症防止策の推進</p>  <p>ささえあう市 イ</p>	<ul style="list-style-type: none">○ 健康診査や各種検診の受診を促し、生活習慣病の予防に努めます。○ 特定健診結果やレセプトデータを突合するなど、健康に関する情報の収集と課題の抽出を行い、健康づくりに関する普及・啓発のほか、重症化予防の取組を重点的に行います。★ 感染症予防と拡大防止に向けて、情報収集を行いながら、環境整備と必要な助成等の取組を行っていきます。
<p>1-2-3 こころの健康づくりの推進</p>  <p>ささえあう市 イ</p>	<ul style="list-style-type: none">○ 各世代を対象にした教育を行うほか、自殺予防街頭キャンペーンを実施します。★ こころの健康に関する正しい知識を得て、自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応（悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る）ができるゲートキーパーの育成に努めます。

コメントの追加 [C3]: 審議会で提言した骨子案の重点施策内容を踏まえて、健康寿命への寄与する観点からフレイル予防の文言を追加しました。

主な取組

- 保健福祉総合センター運営事業
- 各種検診（健診）事業
- 健康相談事業
- 自殺対策事業
- 健康づくり事業
- 特定健康診査・特定保健指導事業
- 予防接種・感染症予防事業
- **骨粗しょう症ゼロ事業**

町民や地域・団体・事業者の取組の例

【町民】

- 自分の健康は自分で管理するため、健診（**検診**）を毎年受診し、健診の結果から生活習慣や食習慣を見直し、生活習慣病の予防や介護予防に努めます。

【地域・団体・事業者等】

- 地域や職域の仲間と一緒に健康づくりに取り組みます。



関連する計画・条例等

- 上市町健康づくり推進計画
- 上市町自殺対策計画
- 上市町保健事業実施計画（データヘルス計画）

1－3 地域医療の推進



現状と課題

- かみいち総合病院は、内科をはじめとした診療科と、救急、出産、へき地診療を担うとともに、訪問診療等の在宅医療の機能を有する、中新川郡内唯一の公立病院です。今後とも町民に必要とされる病院であり続けるため、また、町民が最後まで安心して暮らせるためのサポートの推進が大切です。
- 地域医療体制を図るため、2次医療圏におけるかみいち総合病院がどのような医療を担うか、町民を交えた議論が大切です。
- 利用者の利便性向上と医療従事者・職員の業務効率化の推進に向け、院内DX化等のニーズに応じた環境整備について、中長期的な視点に立った導入計画を策定する必要があります。
- 病院建物や設備、医療機器について、大規模修繕等や病院建替時に整備した医療機器の更新時期が到来しており、継続的な修繕・更新が求められます。

ミライの 上市

安心して速やかに必要な医療を受けることができる医療体制の維持に向けた取組が、町民と共に進められています。

コメントの追加 [C4]: 入院患者や外来患者、その家族からのWi-Fiの整備やDX化の要望やニーズを踏まえ、院内DX等の環境整備について記載しました。また、予算の状況も踏まえ、中長期的な導入計画としました。

コメントの追加 [C5]: 建物全体に係る長寿命化の対応、手術や検査などの医療機器の更新、人件費や物価高騰による経費負担の激増など、財源確保が喫緊の課題であることを踏まえ記載しました。

数値目標

指標	基準値	目標値
かみいち総合病院の医業収支比率 ※修正医業収支比率	85.7%	91.4%
がんばるかみいち総合病院応援寄附件数【総合戦略】	90件	470件 (R8～R12)

施策の内容

1－3－1 地域医療体制の確保・充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の医師会や開業医（かかりつけ医・歯科医）、薬局と密接に連携して、地域包括ケアシステムを推進します。 ○ 継続的に、医療従事者の人材確保と育成に努めます。 ○ 本町と周辺町村の医療拠点であるかみいち総合病院を守るため、病院ボランティア等での町民の参加や医療従事者への応援、医療環境の充実などの取組を地域ぐるみで進めていきます。
1－3－2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の医師会や開業医（かかりつけ医・歯科医）、薬局と密接に



かみいち総合病院の経営改善



ささえあう上市 ウ

連携して、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムを推進します。また、在宅医療体制を活かし、訪問診療や看取りなど在宅医療の取組を進めます。

- 本町と周辺町村の医療拠点であるかみいち総合病院を守るため、地域住民の理解と関心を高める情報発信を行うとともに、病院ボランティア等での町民の参加や医療従事者への応援、医療環境の充実などの取組を地域ぐるみで進めていきます。
- 経営強化プランに基づき、収入増加・確保対策、経費削減・抑制対策等の観点から経営改善を図ります。

コメントの追加 [C6]: 審議会で提言した骨子案（P.18）の重点施策内容を踏まえて、地域ぐるみでかみいち総合病院を支えていく文言を追記しました。

個別施策

1-3-3

がんばるかみいち総合病院
応援プロジェクトの推進



ささえあう上市 ウ

©2012 W.C.F.P

★ 本町の地域医療の中核であるかみいち総合病院に対し、「がんばるかみいち総合病院応援プロジェクト」を通じて、町民参加や医療従事者への応援、医療環境の充実の面から支援していきます。

主な取組

- 総合病院としての医療体制の確保
- 総合病院の医療機器・建物・設備の維持、整備
- 上市・地域医療支援学講座事業
- 研修医の受け入れ
- 認定看護師等による出前講座
- 在宅医療
- 総合病院医療機能評価
- 医療 DX 導入
- 医療従事者等の確保
- 医科歯科連携「かみいちモデル構想」

コメントの追加 [C7]: 将来的な医師確保のため、若手医師の育成かわることを目指します

コメントの追加 [C8]: エssenシャルワーカーや事務職を含めた病院に関係するスタッフの確保が困難になってきていることから、医学生や薬学生の修学金貸与制度に加えて、R7 から新たに始めた看護学生向けの修学資金制度を活用して人材の確保を図ります。

コメントの追加 [C9]: 病院や医療に関する地域のニーズを収集する一方で、病院から住民に対して地域医療に対する認識や周知を図るなどの情報発信の機会として活用を図ります。

町民や地域・団体・事業者の取組の例

【町民】

- かみいち総合病院の取組を知り、上市町の医療拠点の要であるという認識を高めます。
- がんばるかみいち総合病院応援プロジェクトに賛同します。

【地域・団体・事業者等】

- 地域や職域において、身近で気軽に相談できるかかりつけ医を持つよう啓発します。
- がんばるかみいち総合病院応援プロジェクトに賛同します。

関連する計画・条例等

- かみいち総合病院経営強化プラン



かみいち総合病院の職員



ささえあう2 生活安全

2-1 消防・防災体制の強化



現状と課題

- 近年、大規模な自然災害が全国的に多発しており、災害対策の必要性が以前に増して高まっています。本町は、市街地では宅地の密集度が高く、道路の幅員が狭く屈曲が多いため、災害に対して脆弱な面を有しています。また、比較的水はけの悪い低地部では、集中豪雨によって冠水等の被害が発生しており、対策が必要です。
- 災害時の避難に支援を必要とする町民のために、避難支援情報の登録や避難を支援する取組に係る周知を行っています。また、地域ぐるみの防災体制として、防災訓練を実施した自主防災組織の割合は年々増加しているほか、私設消防隊、防火クラブ等の活動に対する活動を支援していますが、引き続き町民の防災意識を高めるため、これらの取組を支えていく必要があります。
- 消防・救急については、富山県東部消防組合において車両・資機材の充実を図るとともに、町が消防団員の確保に努めるなど、体制の強化を図ってきましたが、消防団員数は年々減少しています。引き続き、人員や設備の充実に取り組むことで広大な町域をカバーすることができる消防力を確保することが求められています。

ミライの上市

防災・減災の取組は着実に進められ、町民一人ひとりが災害への危機意識と自主防災の意識を高めています。

数値目標

指標	基準値	目標値
自主防災組織の活動率（町内の自主防災組織のうち、年1回以上活動を実施した組織の割合）【総合戦略】	25.5%	30%
消防団員数	204人	225人
町職員の防災士資格取得数	12	17
防災に関する啓発イベントの開催数/参加者数	4回/467名	6回/600名



施策の内容

個別施策

コメントの追加 [C10]: 災害対策の必要性をより強く謳う記述にしました。

- ・町民の災害に対する意識が高まっているため今後も継続したいと考え追記しました。
- ・「等」→私設消防隊や防火クラブに限らないため、追記しました。（地区防災訓練など）
- ・消防団員について年々減少している現実を追記しました。

コメントの追加 [C11]: 組織全体の防災力や地域ぐるみの取組状況をより的確に評価するため活動率を指標としました。

<p>2-1-1 防災・減災体制の充実</p>  <p>ささえあう市 ア</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害の動向等を踏まえ、必要に応じて地域防災計画の見直しを実施します。 ○ 防災用の備蓄品について見直しや追加を行います。 ○ 消防団員の安定的な確保に努めます。 ○ 医療機関と連携した講習会や訓練等、救急体制の充実を図ります。 ○ 治山・治水対策などの国土強靱化に取り組み、減災体制を強化します。 ★ 感染症予防対策を含めた避難所運営体制を構築します。 ★ ICT等の新しい技術の活用について調査・研究を進めます。
<p>2-1-2 地域防災力の向上</p>  <p>ささえあう市 ア</p> <p>©2012 W.C.F.P</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校や生涯学習の場における防災教育、防火指導等を推進します。 ○ 一般公募による普通救命講習や自主防災会や事業所等での応急手当講習を実施します。 ○ 自主防災組織の防災訓練実施に向けた啓発を行います。 ○ 災害時の避難行動要支援者の避難支援情報の共有を関係者間で行い、災害時には円滑な避難ができる環境づくりに努めます。 ○ 町内の防災士有資格者と連携し、地域防災力の向上に努めます。
<p>2-1-3 災害に強いまちづくりの推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市街地における雨水排水路の整備を推進します。 ○ 白岩川等の河川改修を推進します。 ★ 災害に対し、「人命の保護」「町・地域社会の重要な機能が致命的な障害を受けず維持される」「町民の財産及び公共施設に係る被害の最小化」「迅速な復旧復興」を目指すとともに、災害時でも機能不全に陥らない経済社会システムを平時から確保するため、国土強靱化地域計画に基づく施策に取り組みます。

コメントの追加 [C12]: 消防団員が年々減っている事実があるため、「安定」という言葉を加えることで、必要な人数を確保するという意思表示をしました。

減災体制について、基本構想本文に記載がある「国土強靱化」というワードを追加しました。

国土強靱化が減災体制に繋がるという記載があるため、そのニュアンスを追加しました。

主な取組

- 雨水排水路整備事業
- 耐震改修促進事業
- 地区防災訓練の支援
- 災害時用備蓄品整備事業
- 防災行政無線運用事業
- 災害時相互応援協定
- 消防水利施設整備事業
- 治山・治水等事業
- 災害時避難行動要支援者把握事業
- 自主防災組織支援事業
- 避難施設電源確保事業
- 地域防災計画の改定
- 消防車両整備事業
- 消防団員安全装備品整備事業

町民や地域・団体・事業者の取組の例

【町民】

- 災害時に備え、防災に対する知識・技術の習得、非常持ち出し袋の準備、家具の転倒防止、家屋の耐震化、防災訓練への参加を行います。

基本目標3 ささえあう上市
守るべきものを守り、みんなで“ささえあう”安全・安心な暮らし



【地域・団体・事業者等】

- 自主防災組織が主体となり、学校や地域、消防団とともに防災訓練を実施します。

関連する計画・条例等

- 上市町地域防災計画
- 上市町国土強靱化地域計画
- 上市町消防団条例

2-2 防犯・再犯防止・交通安全対策の強化



現状と課題

- 防犯の取組としては、防犯灯や防犯カメラ等の設置を推進するとともに、警察、関係機関、関係団体、地域住民との連携により地域ぐるみで防犯対策を実施しています。また、消費生活相談窓口を設置し複雑化する消費者保護問題に対応してきました。犯罪や消費者問題が多様化・複雑化するなか、町全体で被害を防ぐ継続的な取組が大切です。
- 富山県内の刑法犯検挙者に占める再犯者数の割合は、近年、全国と同様に4割台で推移し、依然として高い水準が続いている。安全で安心な地域社会の実現のためには、罪を犯した人や非行歴のある人を地域社会の中に受け入れ、見守り、社会復帰に向け支えていくことで、再犯防止につなげることが必要です。
- 町内では交通事故が依然として発生していることに加え、高齢化の進行に伴い、認知機能の低下による高齢者ドライバーによる交通事故も懸念されます。町内では令和元年に県内初の環状交差点を整備するなどの取組を進めていますが、引き続き交通安全対策の更なる推進と交通安全意識の向上が必要です。

ミライの 上市

犯罪や交通事故が少なく、安心して暮らせる生活環境が築かれています。

数値目標

指標	基準値	目標値
防犯灯のLED化率	82.2%	85%
交通事故件数	100件	90件

施策の内容

2-2-1

地域防犯活動の充実



ささえあう上市 ア

©2012 W.C.F.P

- ★ 詐欺や子どもへの犯罪等の防止のため、地域ぐるみでの防犯・再犯防止対策を継続していきます。
- 消費生活におけるトラブルの相談は、今後も増加すると見込まれることから、警察や関係団体と連携して、消費生活相談体制の強化を図ります。



2-2-2

交通安全対策の充実



ささえあう上市 ア

©2012 W.C.F.P

- 関係機関と連携しながら安全点検を行い、区画線の設置や危険箇所への防護柵の設置等の対策を行っていきます。
- 警察等と連携して、交通安全教室等を通じた啓発を行います。

主な取組

- 防犯灯LED化推進事業
- 消費生活相談事業
- 交通安全施設整備事業
- 地域防犯推進事業
- 再犯防止に関わる各支援団体への活動支援及び広報啓発

町民や地域・団体・事業者の取組の例

【町民】

- 消費者教育を受けて、自らの消費者被害の防止対策を行います。
- 歩行時や自動車運転時の交通マナーを守ります。
- 高齢者は加齢に伴う身体機能の変化が歩行者や運転者としての交通行動に及ぼす影響を理解し、自覚して行動するとともに、自らの運転に不安を感じた場合には、運転免許証を自主的に返納します。
- 再犯防止の啓発活動に取り組み、再犯防止への意識を高めます。

【地域・団体・事業者等】

- 安全点検により交通危険箇所の把握に努め、必要に応じて交通安全施設の設置等について関係機関と協議します。
- 再犯防止について、国、富山県及び関係団体等、関係機関と連携します。

関連する計画・条例等

- 上市町地域福祉計画



春の交通安全運動出発式



陽南環状交差点

ささえあう 3 行財政運営

3-1 協働のまちづくりの推進



現状と課題

- 地方分権が進展している中、魅力あるまちを実現するため、町民と行政が互いに知恵と力を出し合いながら地域の課題を解決する、協働によるまちづくりが重要視されています。本町では意欲的に活動する町内会（自治会）に対する支援を行っているほか、学生や若者による町の課題解決事業を実施してきました。また、町の最重要課題である少子高齢化や人口減少に歯止めをかけ、人々が安心して暮らせるまちづくりを推進するため、SDG s の理念に沿って事業を進め「選ばれるまち」を目指すべく、町と一緒に盛り上げてくれる仲間を募集しながらづくりを始めています。今後、町内会（自治会）、政策分野ごとの各種団体、学校、事業者、議員、町外の上市ファン等多様な主体の参画と協働を促すため、まちに関するきめ細やかな情報提供が重要です。また、上市町のまちづくりを進める上での課題解決に向け、効果的な施策立案に導くための体制づくりや意見交換の場づくり、実践活動の支援等が引き続き求められています。

ミライの上市

一人ひとりがまちづくりの担い手となって、自発的・意欲的に参画し、お互いの力を合わせ、支え合うまちとなっています。

数値目標

指標	基準値	目標値
上市町 SDG s 推進認定事業活用数	—	15 件 (R8～R12)
上市町 SDG s サポーター登録数	—	20 件 (R8～R12)



住民団体によるイベントの様子

施策の内容

3-1-1 地域づくり活動の充実	<ul style="list-style-type: none">○ 町民の連帯意識や自治意識を高めるため、町内会（自治会）活動の支援を行います。○ 地域づくり組織への研修等の実施により地域経営力の向上を図ります。
3-1-2 町民団体等との協働	<ul style="list-style-type: none">○ 協働手法のメリットを町民・団体・事業者・行政が共有し、協働のマッチングを進めます。○ 各種テーマ型地域づくり活動の活性化を図ります。★ まちの未来を明るくするため、ともにまちづくりに取り組むサポーターを募集します。★ 交流人口、関係人口として本町に縁のある人に対して、協働のまちづくりに関する情報提供や参画への呼びかけを行います。○ まちづくりへの多様な主体の参加を促進するため、まちづくりに関する勉強会を開催するとともに、学校等と連携するなど、次世代の担い手の育成を支援します。★ 廃校を活用し、人が集まり交流が生まれる地域の拠点づくりを進めていきます。

主な取組

- 地域づくり活動促進事業
- SDG s 推進事業
- 廃校利活用プロジェクト

町民や地域・団体・事業者の取組の例

【町民】

- 自分の地域の魅力を再認識するとともに、コミュニティ施設の維持管理への協力や、イベントや行事などの地域活動に積極的に参加します。

【地域・団体・事業者等】

- 町内会等を中心に、地域コミュニティの維持・活性化に努めます。
- 地域のまちづくりの主体となり、よりよい上市町を形成することに貢献します。



「かみいち公募提案型まちづくり事業」を利用し作成した、商工会のPR動画の一コマ

個別

コメントの追加 [C13]: 廃校を利活用した「人が集まる」×「地域が潤う」仕組みづくりを目指します。今後、廃校を活用した拠点づくり等を検討していく必要があります。

3

コメントの追加 [C14]: 団体や事業者が行政と連携して地域のまちづくりを実施する旨を第八次総合計画、基本構想にて示しており、地域の関係者みんなでまちづくりを進めることが大切であることから、地域コミュニティの維持活性化だけでなく地域のまちづくりの主体になっていく旨を追記しました。

3-2 行財政運営の推進



現状と課題

- 本町では、各施策に対する事務事業の定期的な評価や、行政改革大綱、行政改革実施計画等に基づく行政改革を推進しています。また、富山広域連携中枢都市圏の各構成市町村（富山市、滑川市、立山町、舟橋村）との連携を図り、効果的で効率的な行政運営を追求してきました。財政の安定化については、「広報上市」やホームページでの企業等の広告掲載及びふるさと納税による財源確保、収納対策の推進などの取組を進めてきました。今後予定している義務教育学校の整備に向けた財源を確保しつつ、厳しい中でも引き続き安定した財政運営に向けて取組んでいく必要があります。
- 令和2年の初め頃から始まった新型コロナウイルスの感染拡大を契機として、ICTの導入が急速に進みました。今後も、業務の利便性向上の観点に加え、基幹系情報システムの標準化・共通化への対応を踏まえ、引き続き行政手続きのデジタル化や情報システムのクラウド化等を進める必要があります。
- 情報の伝達を幅広く公平に行うことは基本ですが、令和6年より運用を開始した「スマホ役場」などのSNSやスマートフォンアプリなどを活用し、情報を届けたい対象に対して適切な形で発信し、確実に伝えることで、行政サポートをより手厚いものとすることも一般的となっており、今後も戦略的な運用が求められます。
- 企業活動と同様、行政運営においても様々なデータを活用して、最適な施策展開を行うことが大切です。行政が有するデータのうち、個人情報以外の情報については、有用なオープンデータとして積極的に公開し、地域課題を解決につなげる必要があります。
- 公聴の場面においては、「町長への手紙」による町民からの意見の集約や、地区からの要望については全庁への展開を図っています。今後とも町民のニーズに対応した発信力の強化が重要です。

ミライの上市

経営感覚を持ち、民間活力の活用などにより、質の高い行政サービスの提供と、健全な財政運営が行われています。

数値目標

指標	基準値	目標値
ふるさと応援寄附金額	62,760 千円 (R3～R7)	155,250 千円 (R8～R12)
地方税の収納率（滞納繰越分を含む）	96.11%	96.35%

コメントの追加 [C15]: 現状の記述は、「コロナウイルスの流行により ICT の導入を進める必要がある」とされています。5 年が経ち状況が変化したことから（ICT 導入が一定進んでいる状態）、記述を修正しました。

・内部ヒアリングにて、基幹系情報システム標準化・共通化への対応が必要とされています。対応を完遂すると共に、それ以降の行政手続のデジタル化や情報システムのクラウド化への取組について追記しました。

・町民への情報発信/オンライン申請窓口として令和 6 年から「スマホ役場」のサービスが開始されました。SNS やアプリの活用が着実に続いていることから、「戦略的な運用」について記載を追加しました。

コメントの追加 [C16]: 現状、町外からのふるさと納税額よりも、町外へのふるさと納税金額が多いため、町外からのふるさと納税金額が、町外への寄附を上回ることを目標としました。



©2012 W.C.F.P

施策の内容

3-2-1 利便性と質の高い行政サービスの推進	<ul style="list-style-type: none">○ 継続的に、町民のニーズに対応した町組織の基盤強化を図るため、公共施設の効率的・効果的な管理や、事務事業の見直し、人材育成等の行政改革を推進します。★ 相談事業のワンストップサービス等、町民のニーズに対応した体制づくりに努めます。○ 事務事業の内容に見合った適正な職員配置を行います。○ 人材育成に主眼を置いた研修体系により、職員の能力・資質の向上を図ります。○ 既存の広域事務事業を円滑に推進します。★ 富山広域連携中枢都市圏で定めた連携協約に基づき、防災や地域医療、介護、公共交通、観光等での相互協力など、関係自治体間の密接な連携を推進します。
3-2-2 行政手続等におけるデジタル化の推進	<ul style="list-style-type: none">★ 申請者がスマートフォンなどを利用し、役場窓口で行う申請や予約をいつでもどこからでも手続きできる「スマホ役場」について、町民の声を参考に更なるサービス拡充を実施します。○ 情報システムのクラウド化や標準システムの導入を推進することにより、業務の効率化を図るとともに、維持費用の削減に努めます。○ 情報システムの処理にA I（Artificial Intelligence）やR P A（Robotic Process Automation）などといった新たな技術を積極的に導入することにより、日常業務の省力化を図り、働き方改革を推進します。
3-2-3 健全な行財政運営の推進	<ul style="list-style-type: none">○ 効率的な施策の展開を踏まえながら財政見通しを策定し、効率的な財政運営に努めます。★ 企業誘致やふるさと納税、広告収入の確保、手数料・使用料の見直し、収納対策の推進等により、財源の確保に努めます。★ 公共施設等総合管理計画に基づき、計画的な修繕・改修により建物の長寿命化を図ることで財政負担の平準化を図るとともに、今後の公共施設の在り方について検討を進めます。また、公共施設の設置について近隣市町村との広域連携の可能性について調査研究に努めます。○ 引き続き議会活動の内容や議会審議を積極的に公開するほか、関係者と意見交換する場を設けるなど、町民参画型の議会運営に努めます。

コメントの追加 [C17]: 令和6年から「スマホ役場」のサービスを開始し、今後、町民の方の声を聞きながらサービスを拡充していくこととしているため、追記しました。

個別施策

3

主な取組

- 行政情報システム運用事業
- 行政評価事業
- 広域連携強化事業
- 統合型 GIS 導入事業
- 公聴事業
- 人材育成・定員・給与等適正化事業
- 公共施設等総合管理計画推進事業
- 生成 AI の実証実験・導入事業

● スマホ役場事業

町民や地域・団体・事業者の取組の例

【町民】

- 積極的に町の取組に関心を持ち、より良いまちづくりに向けた意見や要望を提出します。

【地域・団体・事業者等】

- 役場からの情報を地域内で回覧して共有に努め、まちづくりに必要な事項は、地域でとりまとめ役場に意見を提出します。
- 町の取組に関心を持ち、行政とともにアイデアを出し合って、まちづくりの課題に取り組んでいきます。

関連する計画・条例等

- 上市町行政改革大綱
- 上市町行政改革実施計画
- 上市町公共施設等総合管理計画
- 富山広域連携中枢都市圏ビジョン



役場窓口



上市町議会定例会